

TCE-FC Pro

ファブロ

ファブリッククリーナープロ

取扱説明書

保証書在中



製品の取扱説明書は、製品改善のため不定期に更新される場合があります。正確な情報を確認するためには、QRコードをスキャンして最新の説明書を入手してください。

目次

ご使用の前に	01
安全上の注意	01
使用上の注意	04
各部の名称	05
ランプ表示の意味	06
付属品	07
パーツ構成	08
ホース、スチームハンドルなどの組立説明図	09
使いかた	10
音声ガイド内容一覧	11
掃除する	12
片づける	14
お手入れ	15
お手入れの注意	15
ブラシヘッド・汚水タンク・清水タンク毎使用後	16
本体 汚れたとき	16
こんなときは	17
故障かな?と思ったら	17

保管のしかた	18
廃棄について	18
製品仕様	19
保証規定	20
保証書	20

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています



- **電源プラグのほこりは定期的にとる**
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- **電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**
ショートによる火災・感電の原因になります。









- **お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く**
火災・感電・けがの原因になります。









- **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない**
感電・やけど・けがの原因になります。



- **乳幼児に電源プラグを触れさせない**
けが・感電の原因になります。
- **電源コードを束ねて通電しない**
過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- **電源コードを傷付けない**
- **持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない**
- **収納時に電源コードを本体に巻き付けない**
傷付いたり、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしない
→ 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損した場合は、製造業者またはその代理店、もしくは同等の有資格者にご相談ください。 • コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない火災の原因になります。 • 交流 100V 以外では使わない 火災・感電の原因になります。 • スプレーをかけたり、吸わせたりしない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など) • 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど)、可燃性のものを吸わせない • 油煙や湯気を吸わせない • 乾いたほこりなどを吸わせない • 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない 吸い込むことや火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜かないと、火災・感電・発煙のおそれがあります。 【異常の例】 (1)異常な音やにおいがする (2)電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる 使用を中止し、お買い上げの販売店までご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> • 分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 • 修理に関しましては、お買い上げの販売店までご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> • 雨の中や水まわり、風呂場などぬれる おそれのある場所では絶対に使用しない • 本体を水に浸けたり、かけたりしない 火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • この機器は安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子どもを含む)が単独で機器を用いることを意図しておりません • 子どもがこの機器で遊ぶことがないように、注意してください。
	<ul style="list-style-type: none"> • 感染症の疑いがある汚れやにおい、吐しゃ物などを吸引しない 感染症の原因になります。 • 汚水タンクを取り付けずに運転しない けがの原因になります。

	<ul style="list-style-type: none"> • 掃除以外の用途に使用しない 異常が発生・火災の原因になります。 • 業務など家庭以外で使用しない 本製品は家庭用として設計されています。 業務など家庭以外で使用すると、火災などの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 火気・暖房器具などに近づけない 吹き出す排気で暖房機器の炎が大きくなり火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • ノズルに異物が詰まったらすぐに運転を中止する • 異常を察知したときは、運転を中止する • 処置のおそれがあるときは、汚水タンク内、清水タンク内、ホース内、ハンドツール内の水を捨てる 故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 乗ったり、寄りかかったりしない • 幼児の手の届く範囲では使用しない • 子どもに遊ばせない けがの原因になります。 • 屋外では使用しない 故障してショートや火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 吸い込み口がふさがれたまま運転を続けない • 排気口をふさがない 加熱による変形、故障、火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 • 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電の原因になります。

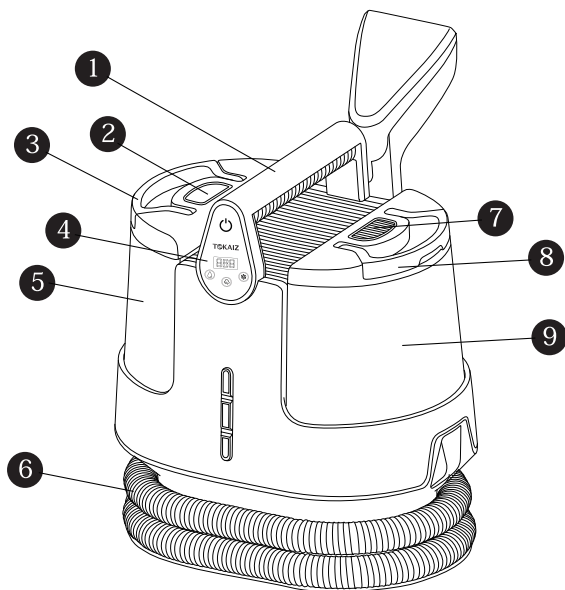
使用上の注意

- 清水タンクには40℃以下の水道水またはアルカリイオン水以外を入れないでください。

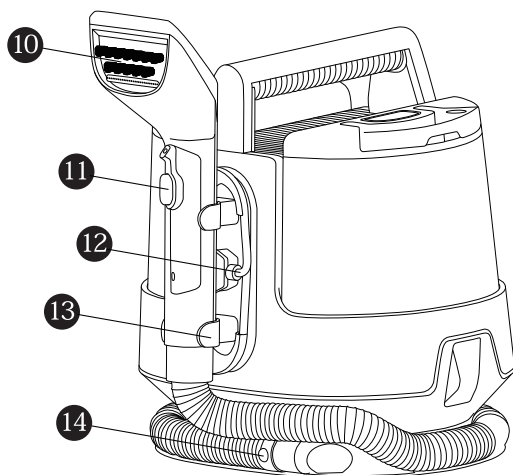
次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。

- 乾いたほこりなど
 - 多量の粉(消火器の消火剤など)
 - 多量の砂、小石など
 - 多量のごみ
 - 針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなど
 - 大きなごみ
 - ビニール袋やストッキングなど内部に詰まりやすいもの
- 本製品は防磁設計ではありません。
本製品の近くに時計や磁気カード(クレジットカード)など磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。
 - 清水タンクの水位が低い状態で汚水を吸わないでください。
 - 美術工芸品、水に弱い繊維(絹、アセテート、レーヨン、キュプラなど)、水に弱い製品(毛皮、皮革製品、和装品、白木の家具、二塗りの木製品、漆器など)、傷つきやすい面(フローリング、テーブルなど)、たたみには使用できません。
水が残ったまま長時間放置すると水分が蒸発して汚れが固着し、タンクが変形する原因になります。
放置しないでください。
 - 汚水タンクに汚水を入れた状態で、本体を大きく傾けたり、激しく振り回したり、落としたりしないでください。汚水タンク内の汚水がもれて、床などを汚損したり、クリーナー内部に入り込んで故障する原因になります。
本体を長時間同じ場所に置かないでください。床面が変色、変質する原因になります。
 - 汚水タンク内で泡立ちが多い場合は、直ちに運転を停止し、汚水を速やかに捨ててください。
放置すると故障の原因になります。
 - 本体を毛足の長いカーペットなどにおくと、排気口をふさぎ、運転が停止するおそれがあります。
 - 寒冷地では、作業終了後は必ずタンク内、バキュームホース内、付属ヘッド内の残水を排出し、凍結しない場所に保管してください。凍結により損傷することがあります。
 - 吸引中、バキュームホース内に回収物が詰まった場合は、直ちに使用を中止して詰まりを解消させてください。故障の原因になります。
 - 吸引中、本体を激しく振ったり、急激に傾けないでください。
汚水タンクの汚水が、クリーナー内部に入り込み、故障の原因になります。

各部の名称

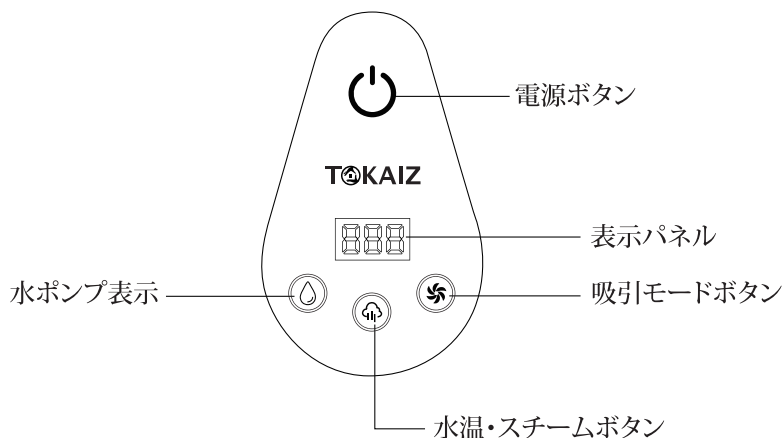


- ① 持ち手
- ② 汚水タンクロック解除ボタン
- ③ 汚水タンク取っ手
- ④ 操作パネル
- ⑤ 汚水タンク
- ⑥ ホース
- ⑦ シリコンキャップ
- ⑧ 清水タンク取っ手
- ⑨ 清水タンク



- ⑩ ブラシヘッド
- ⑪ 噴射スイッチ
- ⑫ 電源コード
- ⑬ ノズルハンドルホルダー
- ⑭ ホースロッククリップ

ランプ表示の意味



電源ボタン

電源ボタンを3秒長押しすると電源が入ります。軽く押すと電源がオフになります。

初期状態について

電源を入ると、起動時は冷水モード「LO」が表示され、モーターは弱モード(緑色ランプ)で作動します。スチームボタンを軽く押すと加熱が開始され、LO → 40℃ → 60℃ → 100℃の順に切り替わります。オフの場合は「00」と表示されます。

水ポンプ表示

起動時に水ポンプランプは自動で緑色に点灯します。オフの場合はランプが消灯します。

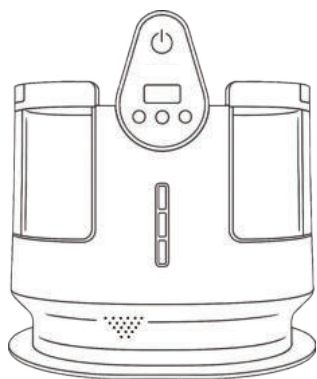
吸引ボタン

吸引ボタンを軽く押すたびに弱(緑色ランプ)→中(青色ランプ)→強(赤色ランプ)→オフの順で切り替わります。

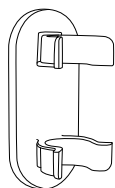
警告コード

コード表示	状態	対処方法
E1	汚水タンク未装着	汚水タンクを正しく取り付けてください
E2	清水タンク未装着	清水タンクを正しく取り付けてください
E3	汚水タンク満水	汚水タンクを清掃してください
E4	清水タンク内の水不足	清水タンクに給水してください
E5	NTC 異常	相談窓口へお問い合わせください

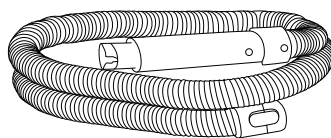
付属品



A 本体



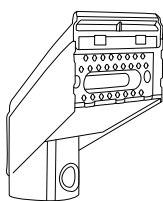
B ノズルハンドルホルダー



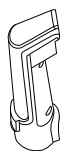
C ホース



D スチームハンドル



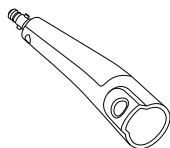
E ブラシヘッド



F 小型ノズル



G 洗浄ヘッド



H スチームノズル



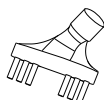
I スクレーパーヘッド



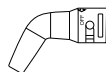
J 大型ラウンドブラシ



K 小型ラウンドブラシ



L 縫隙ブラシ



M カーブノズル

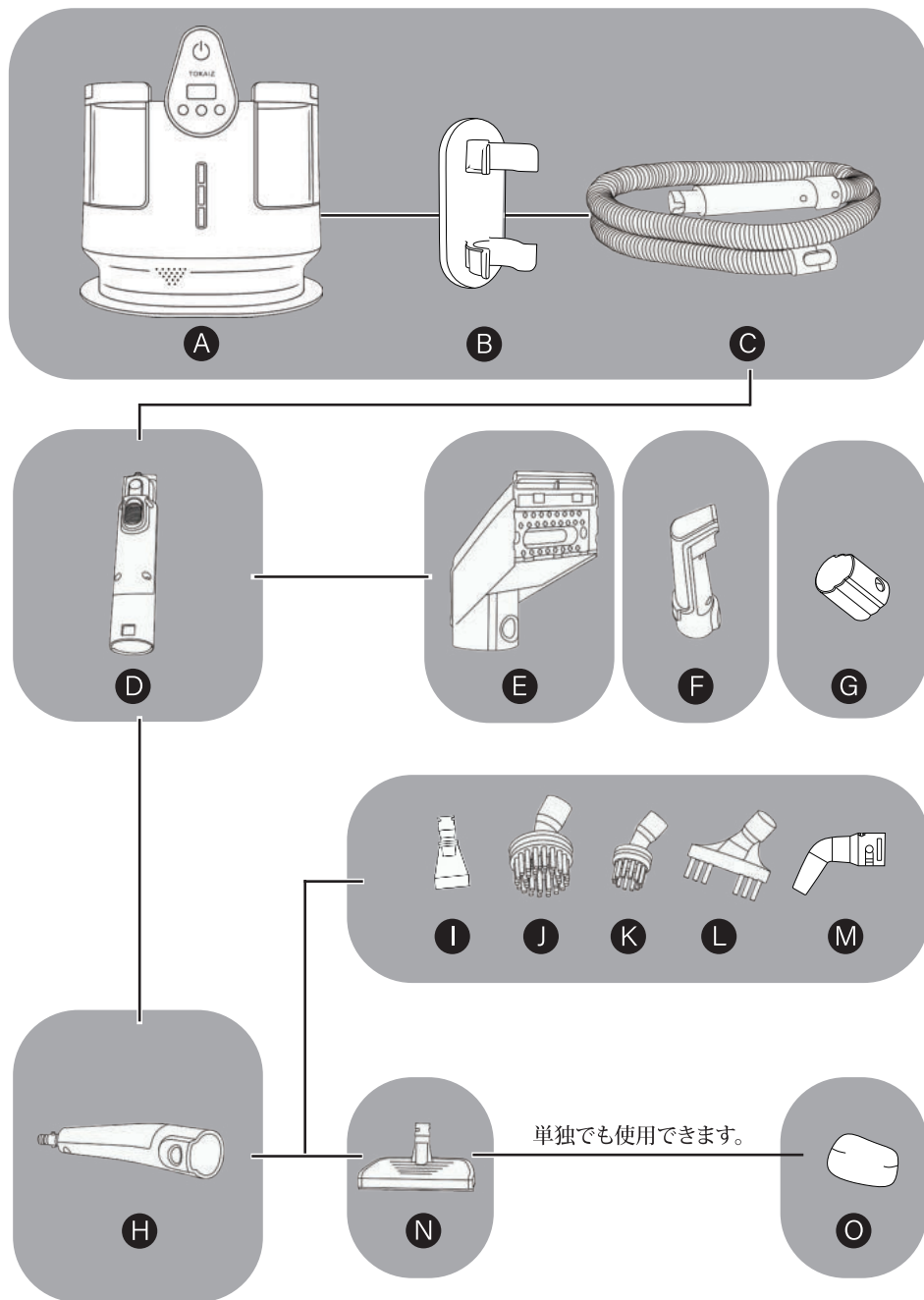


N ガラスブラシ

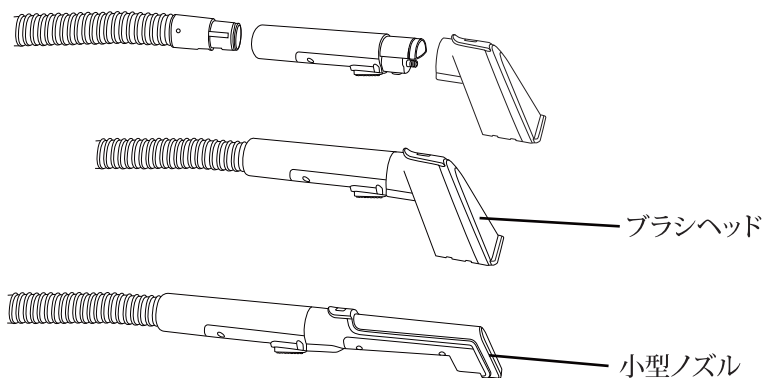


O 布カバー

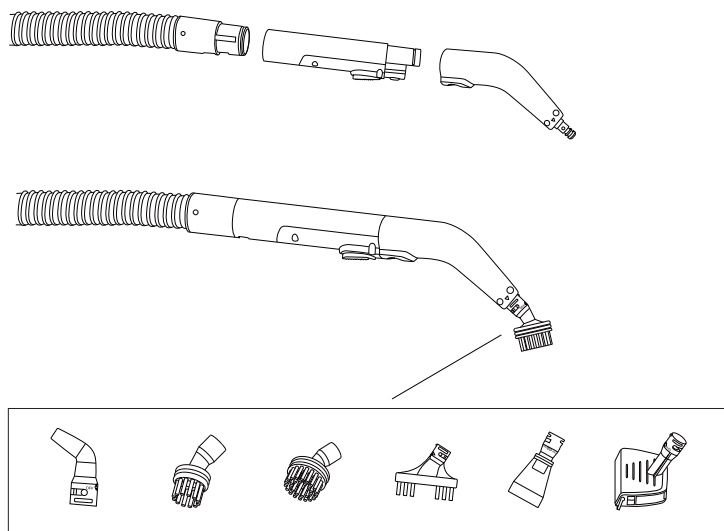
パーツ構成



ホース、スチームハンドル、ブラシヘッドおよび小型ノズルの組立説明図



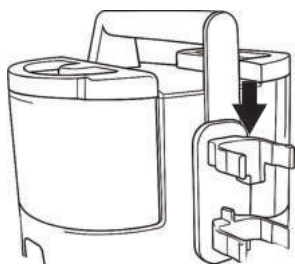
ホース、スチームハンドル、スチームアダプターおよび各アタッチメントの組立説明図



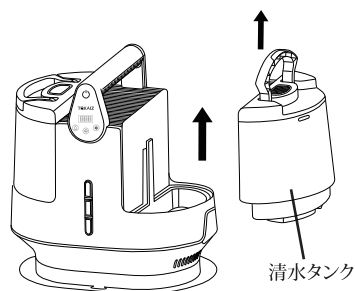
使いかた

準備する

- ① ホルダーを取り付ける



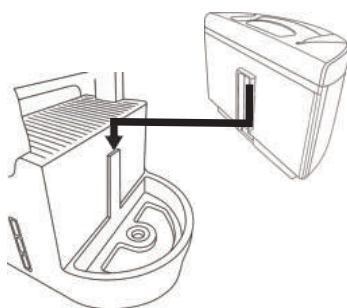
- ② 清水タンクを本体から取り出す



- ③ 清水タンクに水道水を満水線まで入れ、キャップを取り付ける



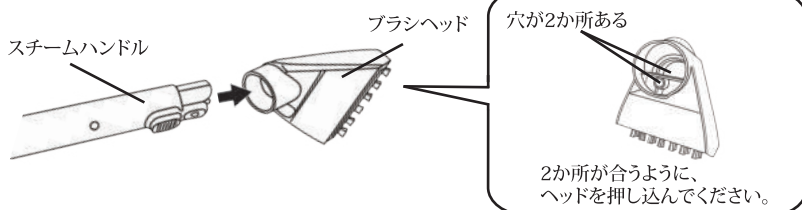
- ④ 清水タンクを本体のスライドに合わせて取り付ける



警告

- ・清水タンクのキャップは確実に閉めてください。
- ・清水タンクに水道水またはアルカリイオン水以外を入れしないでください。故障の原因となります。
- ・清水タンクの水は使用後に捨ててください。水が入ったまま保管すると、水もれやかびの原因となります。
- ・清水タンクを通すときは、傾けないでください。水がこぼれることがあります。

- ⑤



警告

- ホースは奥までしっかり差し込んでください。水もれすることがあります。

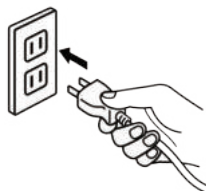
音声ガイド内容一覧

音声内容	対応機能・意味
電源が入りました	起動時
常温モードです	常温水モードに設定した時
温水を準備中です。しばらくお待ちください	水温40℃モードに設定した時
設定温度に達しました。ご使用いただけます	水温が40℃に達した時
高温水を準備中です。しばらくお待ちください	水温60℃モードに設定した時
設定温度に達しました。ご使用いただけます	水温が60℃に達した時
スチームを準備中です。しばらくお待ちください	スチーム100℃モードに設定した時
スチームの準備が完了しました。ご使用ください	スチーム温度が設定温度に達した時
スチーム機能をオフにしました	スチーム機能をオフにした時
吸引モード:弱です	吸引を弱モードにした時
吸引モード:中です	吸引を中モードにした時
吸引モード:強です	吸引を強モードにした時
吸引モードをオフにしました	吸引を停止した時
汚水タンクが満タンです。清掃が必要です	汚水タンクが満杯になった時
電源がオフになりました。汚水タンクを清掃してください	電源オフ時
汚水タンクが取り付けいていません	本体が汚水タンク未装着を検知した場合
清水タンクが取り付けいていません	本体が清水タンク未装着を検知した場合
清水タンクの水がありません。補充してください	清水タンクの水が不足時

掃除する

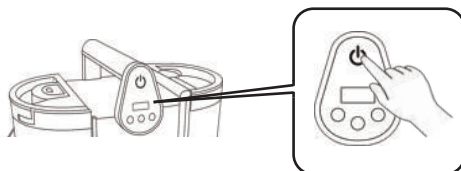
① 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセントに差し込んでください。



② 電源を入れる

電源スイッチを長押し、電源を入れてください。

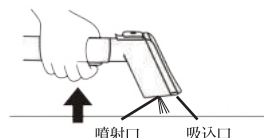


③ 清水を散布して汚れを浮かせる

噴射スイッチを押すと清水が散布されます。
汚れに水を当てることで、汚れを浮かせることができます。
連続して噴水する場合は、噴射レバーを押し続けてください。

噴水ボタンは、
緑(常温) → 青(40℃) → 青(60℃) → 赤(100℃スチーム) → オフの順に切り替わります。
用途に合わせて水温を選んでください。

※ 噴射レバーを放した直後は水滴が垂れる場合があります。
同じ場所に連続して水を散布せず、水散布後は速やかに水分を吸い取ってください。
水分が生地の奥に残ると、カビやにおいの原因になります。

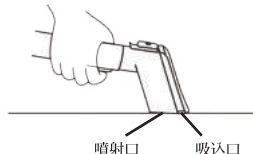


④ 水分をよく吸い取る

＜清水を散布しながら吸う＞
使用前に吸引モードに切り替えてください。

吸引ボタンは、
緑(弱) → 青(中) → 赤(強) → オフの順に切り替わります。
吸込口を汚れに軽く押し付けながらハンドツールを手前に引き、水と汚れを吸ってください。

使用するときには、ヘッドを立ててください。
立てて吸わないとうまく吸い込めないことがあります。



加熱の原理：

当該商品は、安全のために、直接清水タンクの水を加熱することではありません。
商品にはヒーターが内蔵されております。ヒーターの位置は本体両タンクの間にあります。
実際加熱の流れは、

- 1.機械を起動して、温度を設定するとヒーターが加熱し始まる
- 2.噴水ボタンを押して清水タンクの水が噴水ノズルまで吸引される
- 3.ヒーターを通過した水はヒーターに加熱される
- 4.加熱された水は噴水ノズルから出るという流れです。



警告

- ・お湯またはスチームは25～30秒ほどで加熱が完了可能です。加熱時間は、周囲の温度や使用する水温により変動する場合があります。
- ・加熱完了までパネルが点滅し続けるのは正常です。ご了承ください。
- ・常温の水がホースに溜まっている場合があるので、排出する必要があります。お湯&スチームが出るまで押し続けてください。
- ・もし2分間連続で押し続けてもお湯&スチームが出ない場合、カスタマーサポートにご連絡ください。
- ・もしブラシヘッドが掃除をされるものから遠く離れたら、温度損失の可能性があります。より徹底的に掃除できるように吸込口を汚れに押し付けながら手前へ引いてください。
- ・スチームの温度が高いため、やけどにご注意ください。

本製品では、低泡性の布製品用洗剤をご使用いただけます。

ただし、洗剤は必ず正しい使用方法に従い、適切な希釈比でご使用ください。

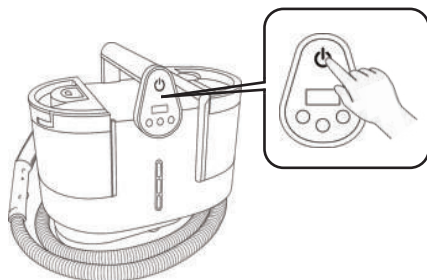
濃度が不適切な場合、十分に汚れが落ちない、あるいは布地に洗剤が残留する原因となります。

また、低泡性洗剤を使用した後は、必ずタンク内を清水に入れ替え、清水で再度すすいでください。

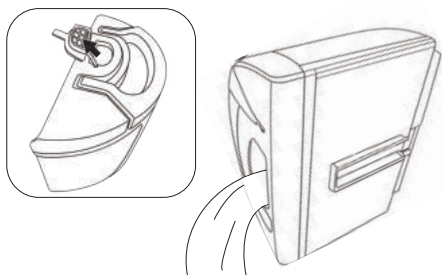
洗剤成分が内部に残ると、においや詰まりの原因となることがあります。

片づける

- ① 電源スイッチを押して電源を切る

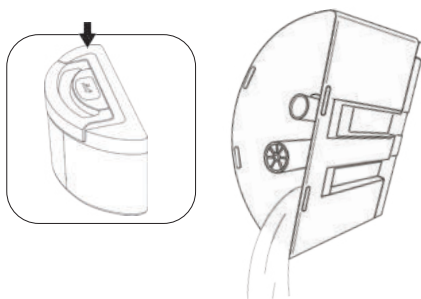


- ② 清水タンクキャップを開け、中に残っている水をゆっくりと捨ててください。



清水タンク

- ③ 汚水タンクキャップのスイッチを押してフタを開け、内部の汚水を捨ててください。



汚水タンク

お手入れ

お手入れの注意



- ・お手入れは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜いて行ってください。
- ・本体・電源コードには、水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- ・洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

洗浄ヘッド:

本製品の内部配管を洗浄するための機能です。

1. 図1のように、ブラシヘッドをハンドルから取り外します。
2. 図2のように、洗浄ヘッドをハンドルに取り付けます。
3. 「噴水スイッチ」を押すと、内部配管の洗浄が行えます。

ホースを取り外して、水道水で直接ホース内部を洗浄することも可能です。

注意:内部配管に汚れが溜まっている場合は、少し長めに洗浄することをおすすめします。

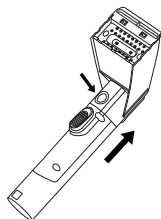


図1

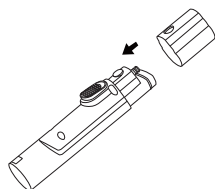


図2

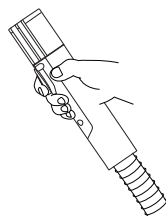
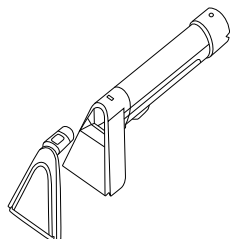


図3

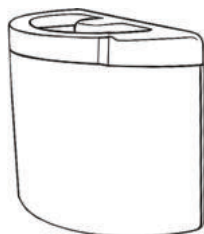
ブラシヘッドの洗浄:

1. ブラシヘッドに毛髪などが絡みついた場合は、工具を使用してブラシ上の毛髪や汚れを取り除いてください。
2. ブラシヘッドが詰まった際は、ブラシ上部の透明カバーを取り外し、適切な工具を使用して内部の風路を清掃してください。
3. ブラシヘッドは水道水で直接洗い流すこともできます。
4. その他のブラシアタッチメント(縫隙ブラシ、小型ブラシ、大型ブラシなど)も、同様の方法で清掃できます。

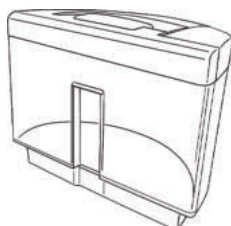


ブラシヘッド・汚水タンク・清水タンク -毎回使用後-

- 本体から取り外し、内部の水を抜いたあと、水洗いして十分に乾かしてください。
- ブラシヘッドに何か詰まっている場合、洗浄して詰まっているものを取り除いてください。



汚水タンク



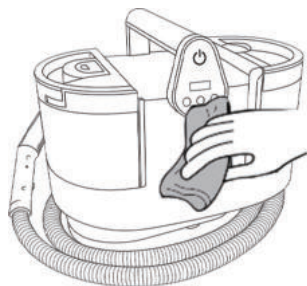
清水タンク



ブラシヘッド

本体 -汚れたとき-

- 水またはぬるま湯(60℃以下)を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取ります。
- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤が残らないように、乾いた布などで水拭きしてください。



警告

- 水洗いをした場合には、風通しのよい日陰などで、十分に乾燥させてから装着してください。
- お手入れした後は、必ず装着してください。
- 本体は絶対に水洗い・浸水しないでください。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前によくお読みの上、以下の点を確認してください。

■電源が入らない(動作しない)

- コンセントに電源プラグが正しく接続されていますか?
電源を切って、電源プラグをコンセントに差し込み直してください。
- 室温が極端になっていませんか?
温度が一定温度になる場合、保護装置が作動します。
電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて涼しい場所においてください。
約1時間後に保護装置機能が解除され再び使用できます。

■ヘッドの噴射口から清水が出で来ない、もしくは吐出量が少ない

- 清掃口が詰まっていますか?
清掃口を掃除してください。
- 清水タンクが正しく取り付けられていますか?
清水タンクを正しく取り付けてください。
- ホースの根元に正しく取り付けられていますか?
ホースを正しく取り付けてください。

■吸引しない、もしくは吸引力が弱い

- 電源ボタンがオフになっていませんか?
電源ボタンを押して、オンにしてください。
- 汚水タンクが正しく取り付けられていますか?
汚水タンクを正しく取り付けてください。
- 汚水タンクにゴミなどが詰まっていますか?
汚水タンクのフィルターを掃除してください。
- ホースの異常はありませんか?
ホースに割れ・潰れ・折れ・詰まりなどないか確認してください。

※それでも解決できないときは、お買い上げの販売店、
またはお客様相談窓口までお電話にてお問い合わせください。



ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

点検・手入れに関する注意事項

- ご使用前には、本体・電源コード・ノズル部分に破損や変形がないかを確認してください。
- コードやプラグが傷んでいる場合は、修理・交換を行うまで使用しないでください。
- スチームが弱くなった場合や水漏れがある場合は、直ちに使用を中止し、販売店またはカスタマーサポートへご相談ください。
- 長期間使用しなかった場合は、再使用前に必ず試運転を行い、異常がないことを確認してください。
- 本製品は安全保護機能として、約45分連続使用すると自動的に運転を停止します。再使用する場合は、約15分間休ませてからご使用ください。
なお、電源プラグを一度抜き差しした場合は、この15分間の休止は不要です。

スチーム孔・タンクのメンテナンス

- スチームの吹き出し口が詰まった場合は、針やピンなどの尖ったもので突かないでください。柔らかい布や綿棒などでやさしく清掃してください。
- タンク内に水あかがたまった場合は、水を入れて軽くすすいだあと、よく乾燥させてください。
- 清掃後はタンク内を完全に乾かしてからふたを閉めてください。湿ったまま保管するとカビや異臭の原因となります。

保管のしかた

- 本体を保管する際は、汚水タンク、本体内部の水を必ず捨ててください。
- 氷点下以下になるような場所に保管しないでください。
- 乾燥した場所に保管してください。

廃棄について

- 製品を廃棄する場合は、小型家電製品として、お住いの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

製品仕様

型番	TCE-FC Pro
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格入力	1500W
汚水タンク容量	約1250ml
清水タンク容量	約1800ml
使用温度範囲	0～50℃
製品寸法	約33.5 × 32 × 23.8 cm
ホース長さ	約1.8m
製品質量	約4.5kg
電源コード長さ	約5m

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたします。
- 2)次のような場合は保証期間内でも保証対象外になります。
 - (1)異常電圧による故障及び損傷。
 - (2)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (3)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (4)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (5)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)弊社は、いかなる場合でもご購入者様の逸失利益、間接損害、特別損害、弁護士費用その他の損害を賠償しないものとします。

保証書

型番：TCE-FC Pro

保証期間：本体1年間

お名前

ふりがな

様

ご住所
〒 -

電話番号

- -

お買い上げ年月日

年 月 日

注文番号

○お問い合わせ先

株式会社万通商事

住 所： 〒273-0011 千葉県船橋市湊町3-11-7

お問合せ電話番号： 0120-090-627

受付時間： 平日：10:00~19:00
祝日：10:00~17:00
(土・日・年末年始・弊社休業日を除く)

ホームページ： www.tokaiz.jp

本書は日本国内においてのみ有効です。
THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.

※本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

T**KAIZ**